



寄 稿



松本 勝先生の国際風工学会 Senior Award 受賞に寄せて Dr. Matsumoto won the IAWE Senior Award, Davenport Medal

白土博通*

Hiromichi SHIRATO



松本 勝先生(67才, 京都大学名誉教授)が本年7月に国際風工学会(IAWE)より, Senior Awardを受賞されました。この賞は4年に一度, 風工学分野で優れた研究業績をあげるとともに, 世界風工学会に大きく貢献された者に授与されるものであ

り, 同分野で最も権威ある賞と言えます。授賞式は2011年7月にアムステルダムで開催された第13回世界風工学会議(13th International Conference on Wind Engineering)のパンケットにおいて, 各国の研究者が大勢集う中で盛大に行われました。

松本先生の風工学に関する一連の研究業績については良く知られているところですが, とりわけ渦励振のメカニズム解明と発現風速の評価式の提案, 台風を考慮した強風評価, レインバイブレーション等の斜張橋ケーブルの空力振動の機構解明, 長大橋のフラッター機構解明など, bluff body aerodynamics を中心とする幅広いテーマで大きな業績を挙げておられます。

先生は数年前に体調を崩され, 数カ月にわたる入院生活を余儀なくされました。しかし, リハビリとご自身の徹底した健康管理により, すご回復ぶりは周囲を驚かすほどでした。2008年に京都大学をご退職後も, 研究に注がれる情熱は以前と変わらず, あるいはそれ以上と拝見します。とくに, フラッター機構を推進力に置き換え, その高性能化を追求する最近のご研究は, 正に発想の転換であり, 豊かな経験と鋭くかつ深遠な洞察力に裏付けられた先生の研究姿勢に改めて触れたように感じます。

改めて, 先生の此度の受賞をお祝いするとともに, ご健康に留意され, 引き続きご活躍されることを心より祈念いたします。



IAWE 授賞式

(2011年7月14日 Grand Hotel Krasnapolsky, Amsterdam)



* 京都大学工学研究科社会基盤工学専攻 教授
Professor, Department of Civil and Earth Resources Engineering, Kyoto University